



生活クラブ生活協同組合

未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225

2月供給高 5413.9万円 (前年比 102.8%)

2月組合員数 3,009人 (前年比 98.2%)

検索してみる

生活クラブ奈良

あなたも総代になってみませんか



Eッコロと新しいつながり

総代の役割は？

毎年6月には、組合員代表である総代が集まる総代会が行われ、前年確認した方針に対して「一年間の事業や活動はどうか」を振り返り、「次の一年間、生活クラブ奈良がどんな事業や活動を行うか」という方針を決定します。

2020年 総代会は6月15日(月)

間もなく総代の立候補受け付けが始まります。あなたも総代になって、総代会に出席してみませんか。組合員の力をあわせて、生活クラブ奈良をますます盛り上げていきましょう。(理事 堀口雅子)

総代とは、「組合員の代表」として生協に意見を伝える人です。任期は一年。生活クラブ奈良に加入している組合員は、加入年数を問わず、誰でも立候補できます。私が毎月払っている出資金はどのように使われているのだろうか、生活クラブ奈良は、毎週の消費材の共同購入以外には、どんなことをやっているのか、等。気になったり、疑問に思ったことはありませんか？

生協(生活協同組合)とは、人々の暮らしを守り、より良いものとする事を目指して、組合員自身の手で自治・運営する組織です。生活クラブ奈良も生協です。ので、暮らしの中で生まれる様々な「思い」を実現するために、自分たちでお金を出し合い(出資金など)、意見を出し合いながら事業や活動を行います。

「総代会が生協の中の最高議決機関」と言われるのは、総代会で決められた方針に沿って、生活クラブ奈良のすべての事業や活動が行われるからです。総代は、組合員の声を生協の方針に反映させる役割もありますから、生協の経営や事業・活動について理解を深め、その議決に参加する事になります。

組合員同士でケアする仕組み

「Eッコロ制度ってなあに？」というEッコロカフェを開催したとき、一人暮らしの組合員の体験談を伺いました。

病気で倒れて引きこもりになったとき、近所の介護ケア専門の仕事をされている組合員から、医療情報、病院紹介、後見人制度の情報、の活用、日常の食事ケアまでしていただいていたこともあった。今も継続して支援していただいている。とのことでした。

サービス提供の地域格差、情報格差が起きているのが現状です。Eッコロに期待を込めて、奈良の生活クラブでも「助けあいの仕組み」についてのアンケート調査を実施しました。組合員同士の助けあいの必要性は余り意識していません。でも必要となれば助けあいが多いという結果に期待感が出てきました。長寿社会、少子社会で今起きていることは、困っている人をケアしてくれる人が不足していることです。保育園や介護施設で海外の人材が雇用され、AI搭載のケアスタッフロボットも

現実味を帯びてきました。全国の生活クラブのEッコロ制度が、不足の人材を補う取り組みとして広がっているのもうなずけます。私たちがつなげたい。奈良のEッコロ委員会は、組合員の方と直接対面し、Eッコロ制度の理解を深める活動をしています。Eッコロ共済のしくみについてよく分からない「どんなことができるのか」お金のことや、様々な質問に答えたいと活動しています。出前講座も受け付けます。ぜひ皆さんの声をきかせてください。Eッコロで組合員同士の新しいつながりをつくりたいと思います。(Eッコロ委員会 川島龍子)



~~私たちの活動はすべて「サステイナブル」!!~~

2020年度 主なイベント企画

期間 3月30日(月)~7月31日(金)

イベント情報	タイトル	開催日程(予定)	主催
講演会「海洋プラスチック問題」を考えよう!	脱プラスチック。いま私たちにできること	5~7月	理事会・生駒エリア
サルベージ・パーティ	家でねむっている食材を持ち寄り、料理会	4月	奈良エリア
サルベージ・パーティ	料理の会：残り野菜、野菜のヘタに思いを込めて、救い出そう。座談会：一汁一菜をテーマに	5月	中南部エリア
親子企画(工作と添加物学習会)(創作昆虫ムシロボット)	子供たちの想像力を楽しもう：ムシロボット親の学習：添加物実験をしよう!	7月	奈良エリア
生産者交流会 伊賀有機農産供給センター	「大地の底ちからを野菜たちに・・・」土や野菜のお話とプチ試食会	6~7月	生駒エリア
生産者交流会 山本農園	日本の食文化(発酵食品)を継承しよう「梅のつけ方を知ろう!!」	7月	中南部エリア

生活クラブは次世代に笑顔で世界を手渡すため「サステイナブル(持続可能)な社会」を築いていくための活動を進めています。それをかなえるのは毎日の暮らしにも取り入れられる人、環境、社会へのやさしさ、想像力。みんなで楽しみながら、身近な暮らしのヒントを探し、それが「サステイナブル・フェス!」です。コンセプトは「サステイナブルなひと、生活クラブ」を体感することです。

生活クラブ全体での企画

- ① 創作昆虫ムシロボット
- ・ 不用品の再利用
- ・ 資源循環型の暮らしの提案
- ※ムシロボットは木製のベアースキットに好きな素材を組み合わせて、自分だけの新しい昆虫が作れるワークショップ。拾った葉っぱに眠っている端材やプラスチックごみを使ってオリジナル

消費行動を見直す機会を作り出します。少し聞きなれない言葉が並びますが、生活クラブ奈良の活動を知ってもらったためにいろいろな企画を発信していきます。ぜひすべての企画に未加入の方をお誘いいただきご参加ください。(理事長 甲斐京子)

一人ひとりの利用が大きな力に！

消費委員会活動報告

2019年度は、6月に新しくデビューした『生乳100%ヨーグルト』の利用を集を中心に活動し、総代会・各エリアの活動時・ならフェスタなど、多くの組合員が集まる機会を逃さずに試食の機会を設けました。

奈良では、組合員の積極的な利用の結果、従来のプレーンヨーグルトを越える人気となり、ヨーグルト全体の利用人数も増えて、生乳の有効利用につながっています。

その他、豚肉調理講習会（7月）・新おしゃべりキッチン（10月）を開催し、調理や生産者との交流などを通して、消費材の利用を集をアピールしました。又、毎月新規消費材として

登場するものの中から試食を行い、チラシ発行を通してリアルな感想を組合員に伝え、利用を訴える活動も開始しました。

私達の消費材と一緒にアピールしてみませんか？

消費委員会では、現在、一緒に活動する仲間を募集中です。

消費材に対する組合員一人一人の思いと利用が、より多くの組合員に伝わり拡がり、生産者を含めた「輪」が広がっていき事を常に願って活動しています。

私達の消費材と一緒にアピールしてみませんか？ご連絡、お待ちしております。

（担当理事 堀口雅子）

バナナゴロバナナの登録利用を！

バナナカフェ委員会より

ツアー参加者の活動

2009年からバナナゴロバナナの生産者を訪問する「フィリピン・ネグロスツアー」への参加が始まりました。2014年に参加組合員が3名になり、バナナ利用普及、ツアー参加者発掘を軸とした委員会活動がスタートしました。

ネグロス島に行き、民衆交易を組合員に伝えるという思いを胸に、バナナの普及、登録組合員を増やすことを目的として活動してきました。

料理提案は大好評

ネグロスツアー報告会でその時々フィリピンバナナ生産者の事や現状を話

すだけでなく、美味しいバナナゴロバナナを調理して食べる提案も行ってきました。例えばバナナブレッド、バナナカステラ、バナナ大福と言ったスイーツだけでなく、カレーやミートパイ、バナナドレッシングなど、

少し活動を休みます

ネグロスに対する想いは変わらないのですが、体調不良、家庭の事情、仕事などの様々な理由から一旦休止させていただき判断をいたしました。

ネグロスツアー報告会のサポート、ならフェスタへの参加はこれまで同様に続けます。

（担当理事 合田淳子）

組合員が作る生活者の新聞

「生活と自治」ぜひ購読しましょう！

正しい情報は命綱

日々動いていく今の時代にその月その月に合う記事や必要な情報を提供することの難しさがありますが、組合員がより良く生きていくための確かな情報を届けたいとの熱意ある意見交換が続きます。「生活と自治」編集を少しは

昨年7月から月に1度の「生活と自治」編集委員会に生活クラブ奈良の編集委員として出席しています。

北海道から関西までの生活クラブ会員単協から18名と生活クラブ連合会から3名の合計21名で構成された編集委員会では、毎回、年間のテーマや6ヶ月先までの企画などを自由な意見交換のなかで検討し、方向性を決めていきます。

生活と自治の編集委員長の手腕のもと、5時間の会議はあっという間です。

「生活と自治」は社会に開かれた窓

日本各地で、風土を守り、自然環境を大事にしながら懸命に取り組んでいたという生産者達やそれぞれの課題に向かつて行動する方々に、紙面での出会い勇気付けられます。

地球環境の劣化、政治の劣化、格差の拡大など様々な問題を抱える今の時代の真実を知り、広い視野と多角的視点をもち、希望を失わず暮らしていくために、私達組合員同士や次世代の方達との読み合い語り合いがあればと思ふところです。

（奈良エリア 西典子）

編集後記

今年の広報委員会で「SDGs」という言葉を知りました。知らない！と思っただけで新聞のあちこちに「SDGs」を見つけました。

『持続可能な開発目標』と訳されます。2030年迄に取り組むべき世界の17の目標のうち、私は12 作る責任・使う責任 14 海の豊かさを守ろう この2つが気になりました。組合員の皆さまも今後「SDGs」に注目してみてください。（野口八重子）



昨年10月、千曲川の堤防が決壊し、自宅が水につかりながらも、おいしいりんごを優先的に供給し続けてくださった「八ヶ岳会」。

生活クラブ全体で集めたカンパ金 1500万円を届けに行き、生産者と話をし、りんご園の現状を見てきました。（2020年2月21日）（前列左から2人目は2019年度代表の北沢万正氏、右端は峯村卓憲氏）

おいしくんごを作し続けよう！

みんなで楽しく仲間づくり！

共同購入運営課 森 一誠

1月25日に新宿で開催された生活クラブの「組合員拡大交流会」に参加しました。これは、組合員を増やすためにどのようなことを工夫し、実践しているのかを各地域の生活クラブが発見し、情報交換・共有する企画で毎年開催されています。

今回、生活クラブ山梨から報告のあった内容を奈良でも取り入れたいと思ひ紹介させていただきました。

山梨では親子が楽しめる外部イベントを中心に開催されています。出展の情報についてはTVやラジオとメディアを活用し、幅広く告知されています。

報告があったイベントは色々な企業が一つの会場に出展し、試食や会社案内などをしているものでした。生活クラブでは、子供たちに生協の職場体験をしてもらいます。消費材を数種類並べて手作りの注文書を作成し、トラックの形に作った台車で

配達をするものです。こうすることで、イベントに参加されている多くの方の目にとまり、「生活クラブ」の名前を知ってもらう事が出来ます。

ポイントが組合員の参加

このイベントを成功させる秘訣は、組合員の方にも多く参加（お手伝い）してもらうことです。実際、男の職員がイベント会場でもチラシを配布するより、参加された組合員（女性）が赤ちゃんを抱っこしながら配布することで、約9割の方が手に取ってくれるそうです。

このようにイベントを成功させるためには組合員と職員の連携が必要だと感じました。

「これ試してみたい」「おいしいよ」と共感し合える仲間と一緒に増やしていきたいです。最後に一番印象に残った言葉は「仲間づくり」楽しい活動です。